



無所属 鈴木健一

新市長の公約について問う

問 コロナ感染対策で、PCR検査はどの範囲でやりますか。

答 管轄の保健所が行います。

問 高齢者のワクチン接種会場への移動手段の確保についてどう考えますか。

答 新たに移動手段を確保する予定はありません。

問 市役所職員のワクチン接種率は把握していますか。

答 本人の希望接種であるため、把握する考えはありません。

問 自宅療養している人へのワクチン接種はどのように進めますか。

答 6月中旬より、医療機関の協力のもと、対象者の自宅への訪問などで進めています。

問 子育て環境No.1の街を目指すとなつていますが、内容はどのようなのですか。

答 仕事と子育てを両立するためのサポート体制の充実と子育てに

する理解の促進にも取り組んでいきます。

問 高度医療が受けられる都市へとありますが、新半田病院の民営化の検討について、説明してください。

答 選択肢として検討していきませんが、民営化ありきの検討ではありません。

問 企業誘致を行い、市内の雇用を3千人増やすとの事ですが、数字の根拠を説明してください。

答 市北部の石塚地区に8haの用地を確保したいと考えています。市内企業の敷地面積と従業員数を参考に試算した結果、最大3千人の雇用を創出できると見込んでいます。

問 女性管理職の登用を加速させるとありますが、具体的にはどうしますか。

答 令和7年度までに10%以上とすることを目標に働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。

問 指定ごみ袋の基礎配布方式を説明してください。

答 市民への配布方式を含む全体の制度設計について検討します。



創造みらい半田 竹内功治

久世市長が掲げる子どもたちの未来を見据えた取組み

問 共働き世帯や女性の就業のサポート、子どもたちの安心安全な居場所づくりを推進するために何を取組みますか。

答 学童保育所は長期休業中のみの利用が難しいため、長期休業中の学校の空き教室を利用することを検討します。ただ学校や地域へ協力依頼空き教室のエアコンの設置等を考えて、来年度以降に実施する予定です。

問 ファミリーサポート事業の利用促進やバージョンアップの取組みをどのように進めますか。

答 お試し無料券の配布や子育て支援の相談員の配置など、気軽に利用できる体制を整えながら会員の増加に努めます。

問 更なる安心安全の確保や事業の充実のため、講習の増加や子育て支援のNPO等に運営委託をしてはどうですか。

答 ご意見を参考に事業の充実を目指します。

問 小中学校ではタブレットを活用して授業を行っていますが、授業中に通信速度の低下、キーボードの未配布、家庭へのオンラインの未実施等が課題と考えます。改善すべきでないですか。

答 通信速度の低下等、ICT機器の問題は速やかに原因を調べて対応します。キーボードは2学期から使用できるようにします。また家庭へのオンラインは就学援助の世帯のため学校に配布する予定のモバイルルーターを活用するなど、実施が出来るように取組みます。

問 不登校を解決するため専門チームを結成することですが、その内容とICTの活用はどのように進めますか。

答 今ある相談体制に加え民間や地域の方等、様々な方でチームを結成します。またタブレットを活用して、オンラインの授業や教育相談員の相談等を実施する考えです。

問 教育先端都市を目指すとのことですが、理想としている先進事例や自治体はありますか。

答 茨城県つくば市のよつなICTを最大限に活用した教育や学術・研究都市が理想です。



公明党 山田清一

新型コロナウイルス接種の円滑な推進

問 現時点の課題と改善策はどのように考えますか。

答 今までは接種順位の高い高齢者が主な対象者であり、日中の時間帯に接種時間を設けておりましたが、今後、対象者が若い世代に移行し、ライフスタイルに合わせた接種環境の整備が必要ですが、個別医療機関において通常の診療時間外や休日での接種を促進する等により対応します。

問 半田市ホームページ「新型コロナウイルス特設ページ」において「予約や接種状況の見える化」により分かりやすくできませんか。

答 半田市ワクチン接種特設ページでは、「いつ、どこか場の予約が空いているのか」が一目では分かりにくい状態となっています。他の自治体の取組事例も参考に、少しでも分かりやすいホームページになるよう、現在、改善作業に着手しています。

ヤングケアラーへの支援の推進

問 ヤングケアラーの早期発見・把握について全国規模の実態調査が実施されましたが、半田市も実態調査をするべきと考えますがいかがですか。

答 ヤングケアラーの実態については、認知度が低く、また表面化し難いため、把握が困難と言われています。愛知県においては、令和3年6月議会でも県独自の調査を今秋に実施する予定であると公表されました。半田市においても、今後の国や県の動向を踏まえつつ、実態を的確に把握するため、調査実施に向け準備を進めます。

問 ヤングケアラーの心身の負担を軽減し、適切な支援に繋げるため、どのように取組めますか。

答 潜在化しがちなヤングケアラーを早期に発見することが重要です。まずは、子どもと接する時間の長い学校の教職員を始め、子どもの支援に関わる職員の対し、ヤングケアラーに関する概念の普及啓発を図ることから取組み、早期発見に繋げていきます。

